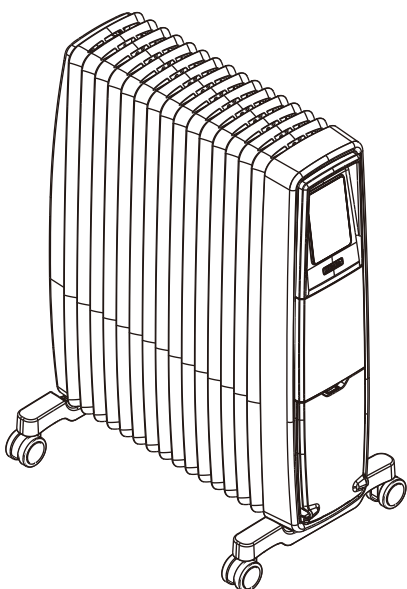


取扱説明書 (保証書付き)

オイルフリーヒーター V2 (白),(黒)

型番：DOFV12BT / DOFV12BTB



【ご注意ください～製品を初めてお使いになる時～】

＜白煙が出る場合があります＞

初めてお使いになる時、製品組み付け時に残存していた揮発成分が加熱されて揮発したり、ヒーター部に付着した細かなホコリや湿気が加熱されて舞う場合があります。

このような場合はしばらくの間、お部屋を十分に換気した状態でご使用ください。

＜においが出る場合があります＞

初めてお使いになる時、あるいは長時間の未使用状態後に再び使用した時に、ホコリや湿気でにおいが出る場合があります。

1日程度のご使用で解消しますので、しばらくの間、お部屋を十分に換気した状態でご使用ください。

もくじ

このたびは、ディンプレックスオイルフリーヒーターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解ください。お読みになった後はいつでも参照できるように、大切に保管してください。

取扱説明書の最終ページには、保証書が付属しております。



- 製品の特長、安全上のご注意・・・・・・・・・・ 1
- ご使用前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 同梱物、各部の名称、設置場所・・・・・・・・ 5
- ご使用前の準備・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 運転のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- その他の設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
- リモート操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 安全装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- 保管のしかた、お手入れのしかた
電源コードおよびプラグの点検・・・・・・・・ 23
- 故障診断・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- アフターサービス、仕様・・・・・・・・・・・・ 25
- 保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

製品の特長







- 本製品は、豊かな自然対流暖気と緩やかに放射されるふく射熱を利用し、送風ファンを使用することなくお部屋を暖める電気暖房機です。乾燥や多湿、空気汚染など、室内環境の変化を心配せずにご使用いただけます。
- 放熱器内部にオイルを充てんしていない「オイルフリー方式」を採用。従来のオイル式ヒーターと比較して本体の軽量化と速暖性を高め、輸送や廃棄時の環境負荷も軽減した、「エコロジー配慮型」ヒーターです。
- 電子センサーおよび「インテリジェント制御運転」を採用した温度制御システムにより、省エネルギーと安定したお部屋の温度管理を可能にしました。
- 専用アプリ「Remo App」により、Bluetooth対応スマートフォンなどの端末から本体のリモート操作が可能です（一部未対応の端末があります）。

【安全上のご注意】

- 以降に、この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するために重要となる注意事項が記載されています。注意事項をよくお読みになり、内容を必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った製品の取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」と「注意」に区分されています。図記号と併せて内容をご確認ください。

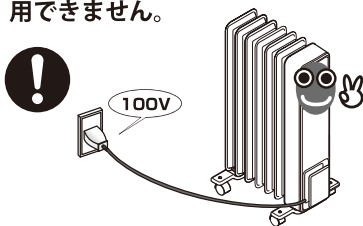
 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例

 この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を示しています（右の例は「高温注意」）。  高温注意	 この記号は、してはいけない内容を示しています（右の例は「分解禁止」）。  分解禁止	 この記号は、しなければならない（強制）内容を示しています（右の例は「電源プラグをコンセントから抜く」）。  電源プラグをコンセントから抜く
--	--	---

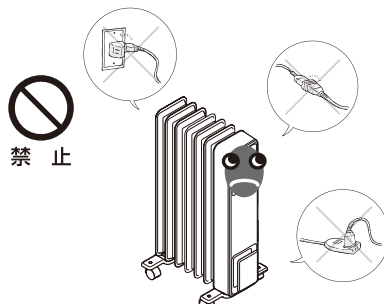
警告

- 電源プラグは、すぐに手が届く場所にある交流 100V の壁コンセントに直接差し込んでください。200V 電源は使用できません。



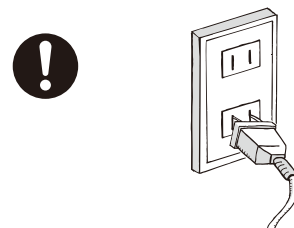
タイマーや他機器と連動するような配線を行うと、意図しない暖房運転が開始され大変危険です。

- 延長コードやテーブルタップは、絶対に使用しないでください。



コードやプラグの過熱による発火の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差し込んでください。差し込みのゆるいコンセントは、使用しないでください。

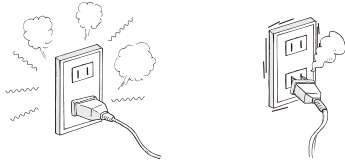


コンセントやプラグの過熱による発火の原因になります。

- 電源プラグやコードが破損した場合は、直ちに製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談窓口にて点検・修理をお申し付けください。
- 以下のような場合も同様に、製品の使用を中止して、お客様相談窓口にて点検・修理をお申し付けください。

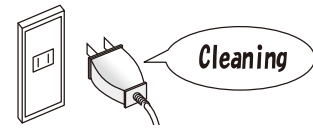


電源プラグやコードが、極端に熱い。電源プラグやコードを動かすと、電源が入ったり切れたりする。



製品に異常が発生したままの状態で使用を続けると、発火や感電の恐れがあります。

- オフシーズンなどで製品を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグやコンセントにホコリの付着などの汚れがある場合は、除去してください。これは、トラッキング現象の防止に効果的です。

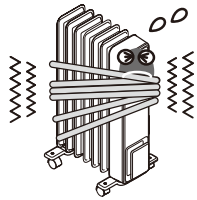


トラッキング現象とは？

電源プラグやコンセントの周辺に付着したホコリなどが湿気を帯びると、プラグの電極間に異常な電流が流れやすくなります。この状態が長期間続くと、電源プラグやコンセントの表面が炭化し、発火に至る場合があります。

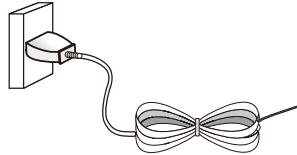
トラッキング現象の防止には、電源プラグやコンセント周辺の清掃が効果的です。

- 電源コードを本体に巻付けたり掛けたりしないでください。



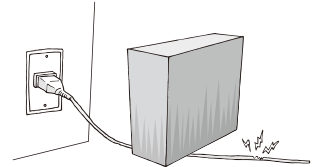
熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

- 電源コードを束ねたり巻き付けたりしたままで使用しないでください。



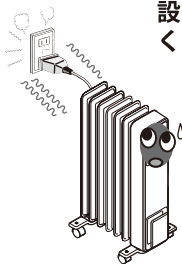
コードの放熱が不完全になり、過熱や発火の原因になります。

- コードに重い物をのせたり、機器にはさまないでください。またコードを傷つけたりしないでください。



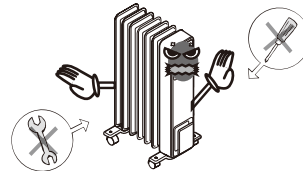
発火の原因になります。

- ヒーターを、コンセントのすぐ下に設置しないでください。



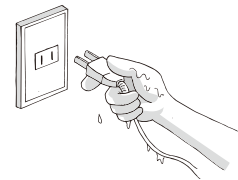
温められた熱気が電源コードを痛め、火災の原因となります。

- 修理技術者以外の方は、分解・修理を行わないでください。お客様による製品の分解や修理は、お止めください。



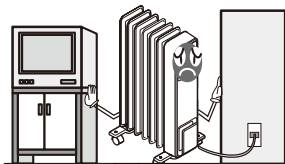
誤った修理を行うと、発火や感電の恐れがあります。電源コードが破損した場合は、危険防止のため、販売店様もしくはお客様相談窓口にて修理をお申し付けください。

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行わないでください。



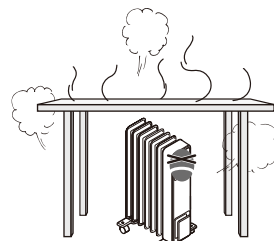
感電の恐れがあります。

- 本体の上、前後、左右に十分な空間を設けて設置してください。特にカーテン、毛足の長いカーペット、壁、家具、家電製品などにはご注意ください。



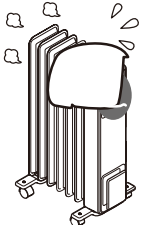
火災、変形、変色、故障などの原因になります。

- 押し入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。



故障や熱変形などの原因になります。

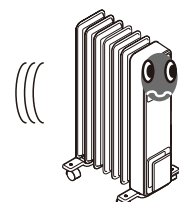
- カーテンや衣類などの可燃物の近くで使用したり、本体に可燃物を掛けたりしないでください。



ヒーター本体や吹出す温風により可燃物が過熱状態となり、火災につながる恐れがあります。

※本体前面には、「覆い掛け禁止」を表す警告記号が表示されています。

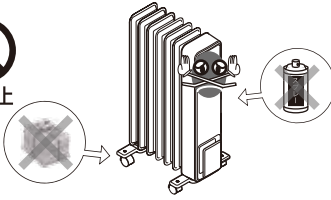
- この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独を使用することを意図していません。
- この機器で遊ぶことがないように子供を監視することが望ましいです。
- 泥酔などで正常な判断ができない状態の方や操作に不慣れな方は、操作を行わないでください。また、幼児が操作をできない場所に設置してください。必ず操作方法や危険を理解した方が操作してください。]



- スプレー缶などの缶、薬品や油、紙類などの燃えやすいもの、火のついたろうそくなどを、本体の上や近くに置かないでください。



禁止

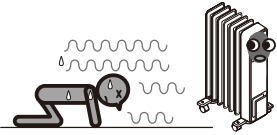


爆発や火災の原因になります。

- 就寝するなど、長時間にわたりヒーターの直前で温風が当たり続ける事のないようにしてください。



禁止

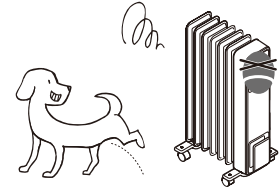


熱中症や低温やけどの恐れがあります。特に幼児や泥酔された方にはご注意ください。

- ペット用の暖房として使用しないでください。



禁止



歯や爪で電源コードを傷付けたり、排せつ物が絶縁劣化を引き起こして、発火の原因になります。

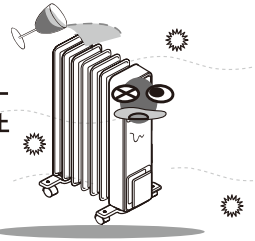
- 本体や電源コードに水やお茶などの液体をこぼしたり、本体を液体に浸したりしないでください。
- お風呂やシャワー、プールなど、水がかかる恐れのある場所や、湿度の高い場所に置かないでください。
- 本体の上に花瓶などの液体の入ったものを置かないでください。



風呂、シャワー室での使用禁止



水ぬれ禁止



内部部品への水滴の付着や結露が絶縁の劣化をもたらし、火災・感電・故障の原因となります。

- この機器は、タブレット端末などのアプリで操作が可能です。

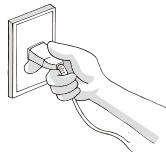


操作方法をよくお読み頂き、ご使用ください。



注意

- 電源コードをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。

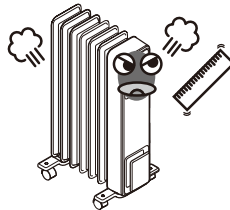


コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火の原因となります。

- 外装の隙間に異物を差し込んだり、物を落としたりしないでください。



禁止

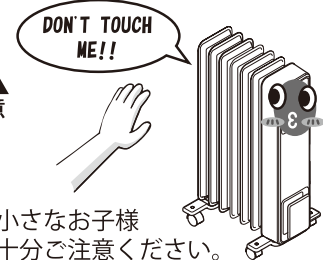


感電や故障の原因となります。

- 本体は高温になります。使用中は手を触れないでください。



高温注意

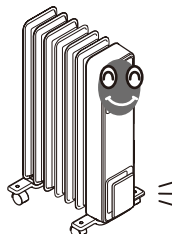


特に小さなお子様には十分ご注意ください。お手入れは、本体が十分に冷めてから行ってください。

- 本体は、水平かつ平らで安定した場所に設置してください。本体を傾けたり横倒しにした状態で使用しないでください。



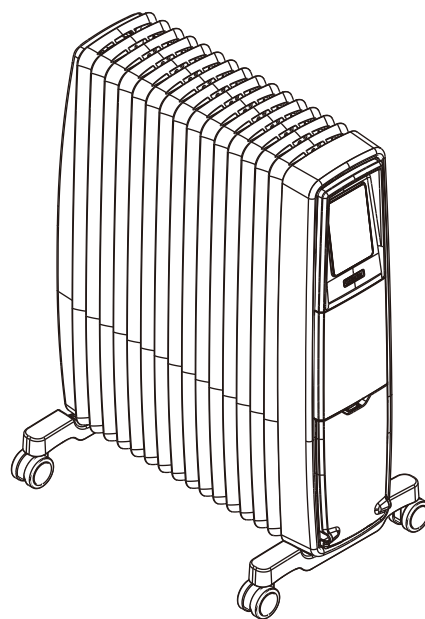
本体が倒れてけがをする恐れがあります。また、火災の原因となります。



ご使用前に・・・知っておいていただきたいこと

■製品のご使用に際して、予めご承知おきいただきたいことをご説明いたします。

- ①ヒーターを初めてご使用になる時や、長期間使用せずにいた後で再びご使用になる時、本体からにおいが出る場合があります。このにおいは、暖まった塗料やホコリ、湿気から出されるものであり、しばらくご使用になると自然に収まります。においが出た場合は、お部屋を十分に換気した上でヒーターをご使用ください。
- ②ヒーターを初めてご使用になる時、薄い白煙が出る場合があります。これは、部品に残存していた揮発成分が蒸発したり、ヒーター部などに付着した細かなほこりや湿気が加熱され舞い上がることにより生じますが、本体の故障ではありません。しばらくお使いいただくことで解消しますので、それまでお部屋を十分に換気した状態でご使用ください。
- ③お部屋の暖まり具合は、お部屋の断熱性能や材質、窓の断熱性能や位置、サイズ、ヒーター本体の設置場所などに、大きく影響を受けます。状況によってはお部屋が暖まりづらい場合がありますが、本体の故障ではありません。
- ④契約されている電力量や、ヒーターをお使いになるお部屋のブレーカー容量によっては、ヒーターの使用時にブレーカーが落ちる場合があります。その場合は、電力の契約量や、ヒーターを設置するお部屋で使用する総電源量の見直しなどが必要となります。
- ⑤ヒーター本体は、高温になります。特にお子さまやお年寄りの方が本体に触れたりすることのないよう、ご注意ください。
- ⑥本体を構成する金属部分が、熱膨張あるいは熱収縮によって小さな「カン」と言う音を発する場合があります。特に運転の開始後、冷えている本体が加熱される時に複数回継続して聞こえる場合があります。また、室温が設定温度に達してサーモスタットや温度センサーが働き、加熱が停止した時にも、本体の冷却により金属部分が収縮して同様の音が聞こえる場合があります。この音は製品の構造上発生するものであり、故障ではありません。また、安全上の問題もございません。
- ⑦電気ヒーターは動作時に、他の電気製品と比較して多くの電力を消費します。そのため、電源プラグ、電源コード、壁コンセントなどの電流が流れる部分は、熱を持ちます。電源コードは放熱を妨げないように、伸ばした状態でご使用ください。またテーブルタップ（電源延長ケーブル）のご使用は、接続部の接触不良から過熱状態になる危険性が高く、火災の原因となる場合がありますので、お止めください。

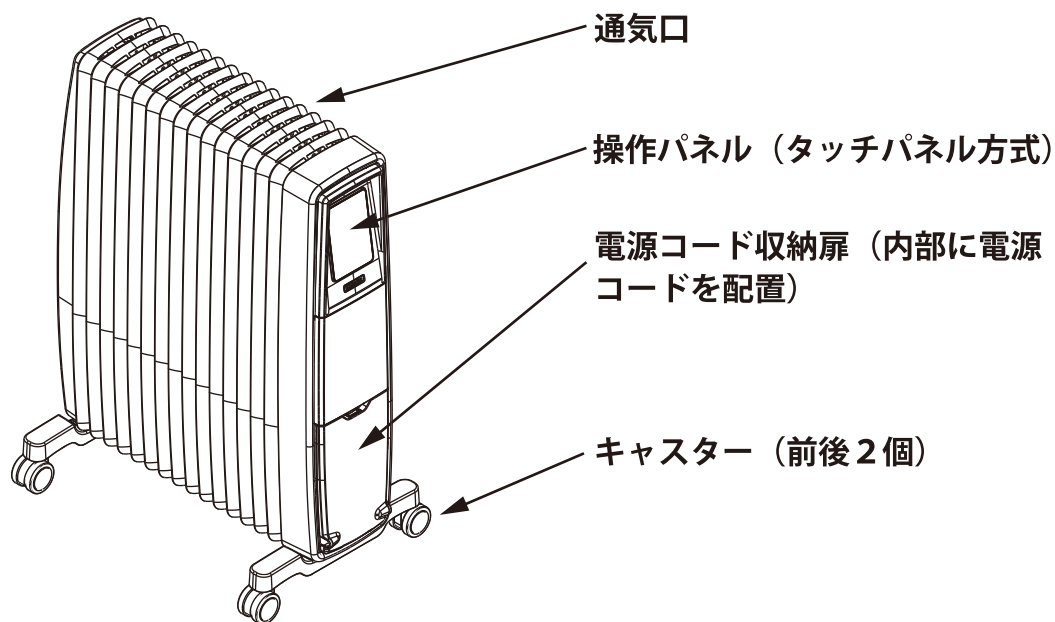


同梱物

同梱物をご確認いただき、万一、不足品や破損品がある場合は、お手数ですがお買い求めいただきました販売店までご連絡ください。

- オイルフリーヒーター V2 本体
- 保管用カバー (1枚)
- キャスター (2個)
- 蝶ビス (キャスター固定用、4個)
- 取扱説明書 (本書)

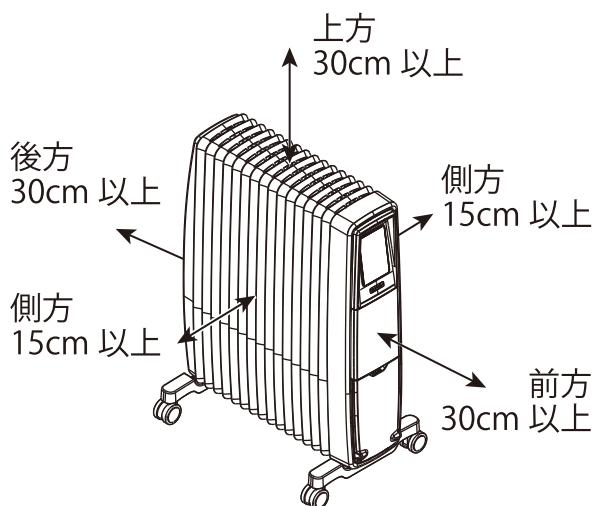
各部の名称



設置場所

- ① 水平かつ平らで、安定した場所に設置してください。
- ② 本体の周囲から、右図に示された離隔距離 (スペース) を取って設置してください。
- ③ 棚やテーブルの下など、奥まった場所には設置しないでください。
- ④ 屋外で使用しないでください (使用環境: 室温 0 ~ 35°C の屋内)。
- ⑤ ヒーターの電源プラグはいつでも外せるように、簡単に手の届く場所にある壁コンセントに接続してください。
- ⑥ 外気に接している壁面や窓の近くに設置すると、冷気の室内への侵入が抑えられ、効果的な暖房を行うことができます。

ヒーターは適切に設置してください。

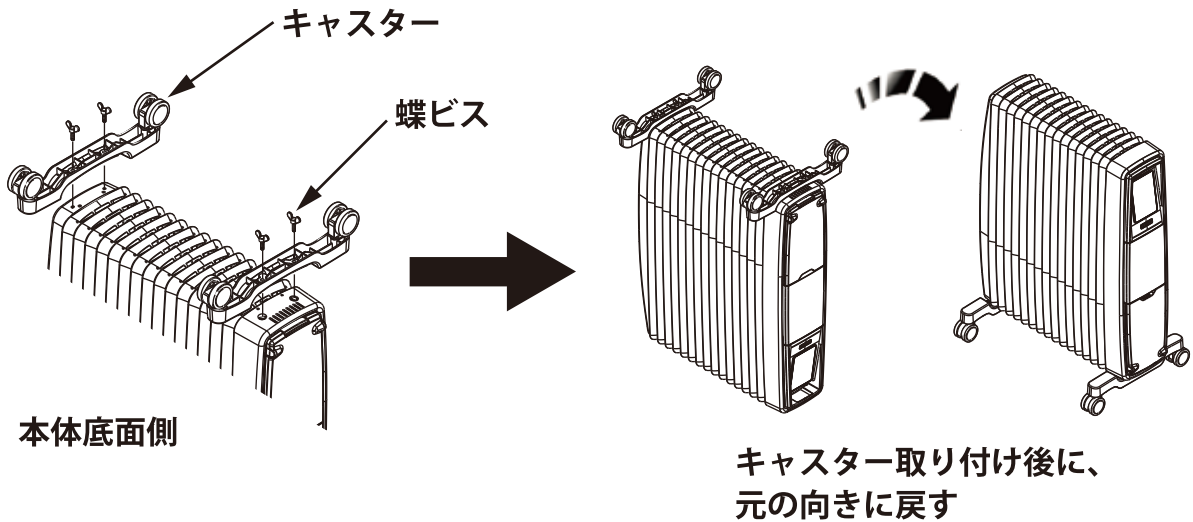


ご使用前の準備

- ※キャスターの取り付けは、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- ※ご使用前には、安全のために必ずキャスターを必ず取り付けてください。

■キャスターの取り付け

- ①カーペットや養生材の上など、傷付きを防げる状態の平らな床面にて、本体を逆さまにします。この作業は、必要に応じて複数名で行ってください。
- ②本体が倒れないように支えながら、キャスター上面の突起とヒーター本体底面の穴を合致させます。同梱の蝶ビスを使用して、キャスターを二つとも本体底面に固定します（下図参照）。キャスターや蝶ビスが傾いたまま固定されないようにご注意ください。
- ③取り付けが完了しましたら、本体を注意深く元の向きに戻します。



運転のしかた

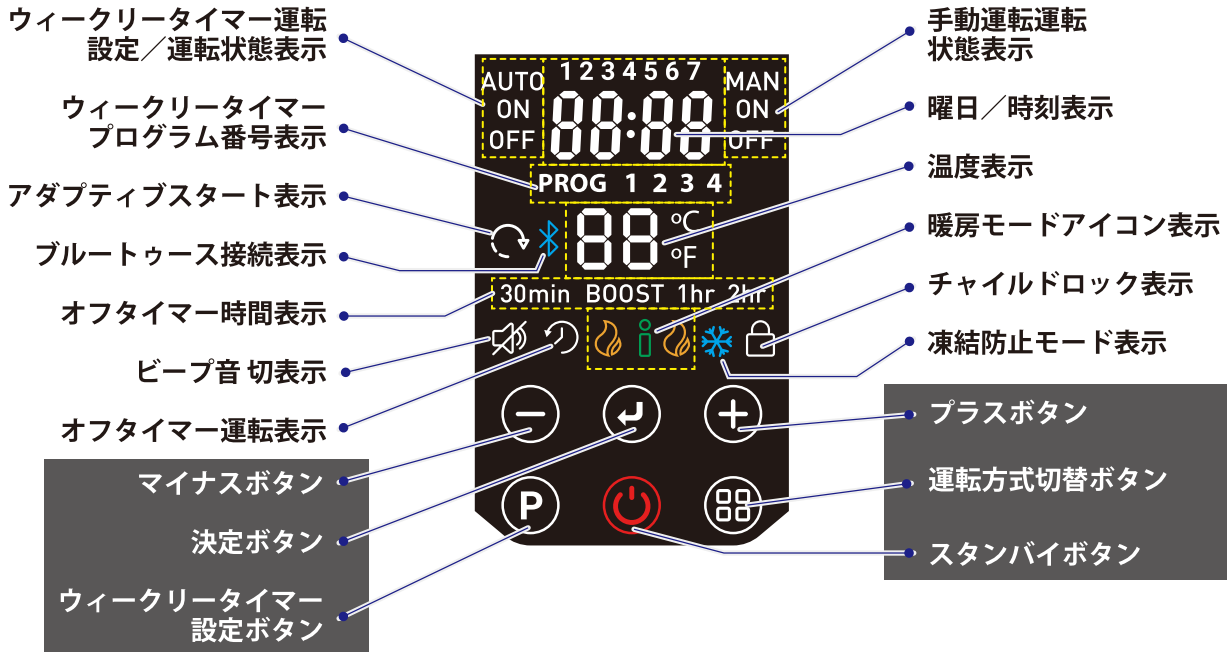
■ 電源の接続

①電源プラグを、100Vの壁コンセントへ直接差し込みます。本体よりピープ音が一回聞こえ、操作パネル上の全表示が点灯した後で消灯し、スタンバイボタン(⏻)のみが赤く点灯します。この状態を「スタンバイモード」と呼びます。

スタンバイモード中は、操作パネル下段中央のスタンバイボタン(⏻)のみが操作可能であり、ここに触れるとヒーターの電源が入ります。

■ 操作パネル上の表示

操作パネルはタッチセンサー方式を採用しており、ボタンが表示された部分を軽く触れるだけで操作を行うことができます。



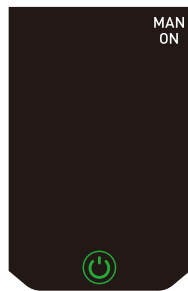
■ 電源の投入

①スタンバイボタン(⏻)を押すとその色が緑に変わり、本体は運転状態となります。操作パネル上に、各種表示や操作ボタンが現れます。

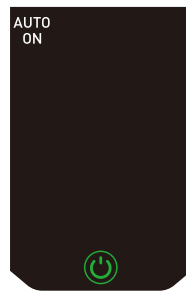
②運転中にボタン操作がおよそ20秒間行われないと、機能に無関係な操作ボタンやアイコンなどは、自動的に消灯します。継続して表示されるスタンバイボタンやその他のアイコンは、明るさが半減します。再び操作パネルに触れると、各種表示や操作ボタンが表示されます。

③本体の運転中に再びスタンバイボタン(⏻)を押すと、ボタンは赤点灯に変わり、ヒーターの電源は切となります(スタンバイモードに戻る)。

運転継続時の 操作パネル表示例



手動運転時



ウィークリタイマー運転時



オフタイマー運転時



- ヒーターを長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを収納部に収めたままの状態ではヒーターを使用しないでください。必ず収納部から電源コードを取り出し、伸ばした状態でご使用ください。

■時刻合わせ

①本ヒーターは、1週間を単位とする時計を内蔵しています。時計を設定することにより、ウィークリータイマー機能使用することが可能となります。初めて電源を投入した際は、まず時計の時刻合わせを行ってください。

なお、時刻は一度設定を行った後でも再び合わせ直すことができます。詳しくは、次項の「時刻の再設定」をご参照ください。

②電源の初回投入後、操作パネル下段左にあるウィークリータイマー設定ボタン **(P)**、あるいは運転方式切替ボタン **(☺)** を押します。時計は「日にち設定状態」となります。

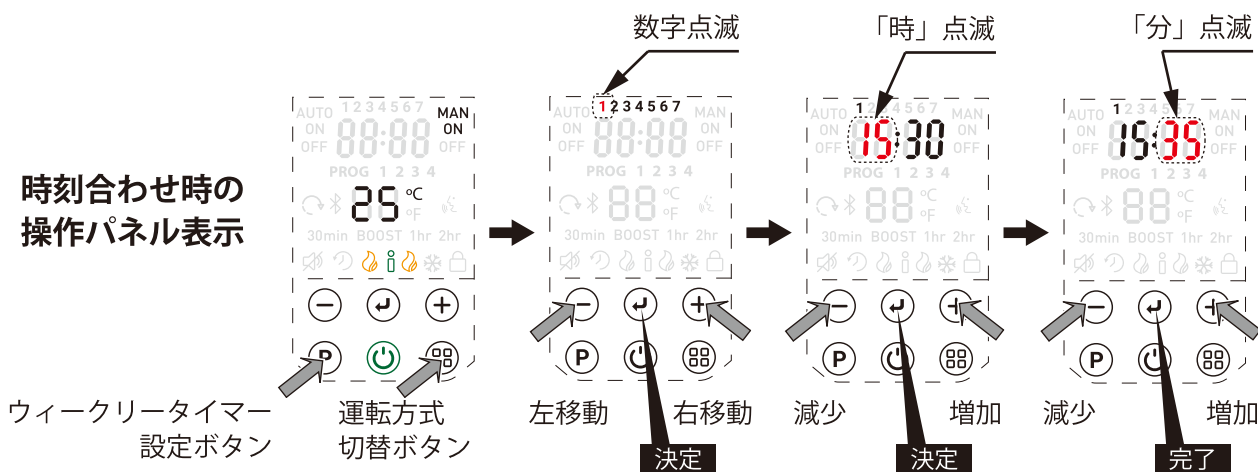
③操作パネル最上段の数字「1」が点滅します。最上段の数字は、以下のように曜日を表しています。

1：月曜日 2：火曜日 3：水曜日 4：木曜日 5：金曜日 6：土曜日 7：日曜日

プラスボタン **(+)** あるいはマイナスボタン **(-)** を押すと、数字の点滅が左右に移動します。点滅する数字を本日の曜日に合わせ、決定ボタン **(☑)** を押します。点滅は、時刻表示の「時」の部分に移動します。

④続いて時刻の「時」を設定します。プラスボタン **(+)** あるいはマイナスボタン **(-)** を押すと、数値が増減します（時刻は24時間表示です）。数値を現在の「時」に合わせ、決定ボタン **(☑)** を押します。点滅は、時刻表示の「分」の部分に移動します。

⑤続いて時刻の「分」を設定します。プラスボタン **(+)** あるいはマイナスボタン **(-)** を押すと、数値が増減します。数値を現在の「分」に合わせ、決定ボタン **(☑)** を押します。操作パネルは時計表示となり、時刻合わせが完了します。



※時刻合わせの操作中、値を選択後に決定ボタンを押さずに5秒間以上が経過すると、それまで選択していた値は無効となり、記憶されません。

※時刻合わせの操作中、プラスボタンあるいはマイナスボタンを長押しすると、数値は連続して増減します。

■時刻の再設定

①本体の電源を一旦切り、再度入にした状態で、ウィークリータイマー設定ボタン **(P)** を3秒間以上長押しします。時計は「日にち設定状態」になるので、上記「時刻合わせ」の手順に従って時刻を合わせます。

※電源プラグを抜いた状態がしばらく経過すると、時刻設定が消える場合があります。この時、ヒーターを使用することは可能ですが、ウィークリータイマー運転は機能しません。ウィークリータイマー運転を使用する場合は、こちらに記載された手順に従って再度時刻設定を行ってください。

■ 運転方式の選択

本ヒーターには、3種類の運転方式があります。ご使用になる状況に応じて方式をお選びください。

※複数の運転方式を同時に選択することはできません。例えば、ウィークリータイマー運転を実施中にオフタイマーを作動させる事はできません。運転方式を切り替える必要があります。

【1】手動運転 (MAN)

暖房の強さを選択し、その状態で継続的に運転します。3種類の暖房モードがあります。

- ・「**弱**」暖房モード：ヒーターは電力消費量を下げた状態（500 W）で暖房を行いながら、設定温度に合わせて室温を制御します。外気温がそれほど低くない場合は、こちらの設定をご使用ください。プラスボタンおよびマイナスボタンを押すことにより、いつでも設定温度をお好みの値に調整することができます。
- ・「**強**」暖房モード：ヒーターは最大の出力（1,200 W）で暖房を行いながら、設定温度に合わせて室温を制御します。外気温が低い場合は、こちらの設定をご使用ください。プラスボタンおよびマイナスボタンを押すことにより、いつでも設定温度をお好みの値に調整することができます。
- ・**インテリジェント暖房モード**：ヒーターは自動的に運転の「強」と「弱」を切り替えながら、暖房効率と消費電力の最適化を図り、室温を制御します。通常は、インテリジェント暖房モードの使用を推奨いたします。

具体的な操作方法につきましては、次項の「手動運転 (MAN) の設定」をご参照ください。

【2】ウィークリータイマー運転 (AUTO)

「ウィークリータイマー（曜日および時刻を設定した自動運転）」にて予めヒーターの運転時刻を設定し、自動的に開始／停止させることができます。操作方法につきましては、取扱説明書 10 ページの「ウィークリータイマー運転 (AUTO) の設定」をご参照ください。

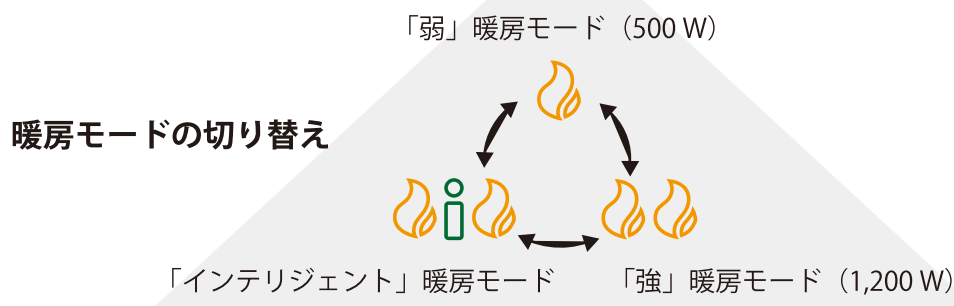
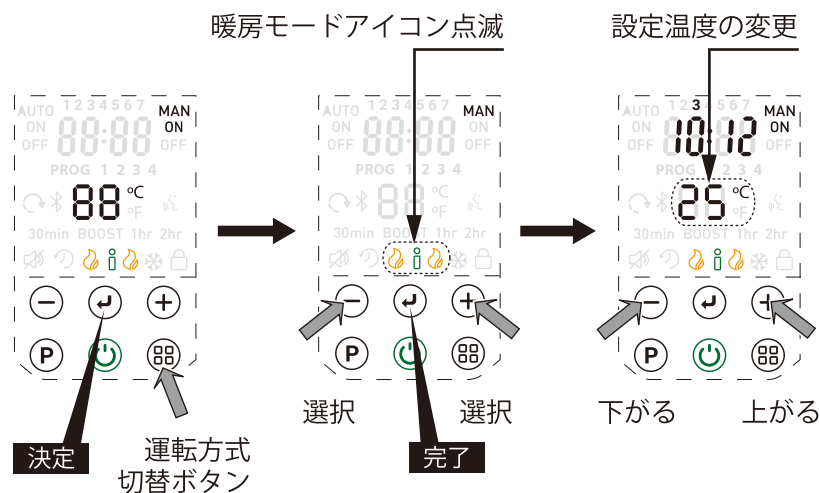
【3】オフタイマー運転 (BOOST)

設定時間後に自動的にヒーターの運転を停止する「オフタイマー」を使用することができます。操作方法につきましては、本書 15 ページの「オフタイマー運転 (BOOST) の設定」をご参照ください。

■ 手動運転 (MAN) の設定

- ①電源投入後、操作パネルの運転方式切替ボタン(Ⓑ)を何回か押し、手動運転を選択します。操作パネルの右上に、「MAN」が表示されます。
- ②決定ボタン(↵)を押して選択を完了します。続いて暖房モードアイコンが点滅します。
- ③プラスボタン(+)あるいはマイナスボタン(-)を押すと、暖房モードが切り替わります。設定したいモードを選択し、決定ボタン(↵)を押します。暖房モードアイコンが、点灯状態に変わります。
- ④操作パネルは、通常の運転状態の表示に戻ります。この状態にてプラスボタン(+)を押すと、暖房の設定温度が上がります。またマイナスボタン(-)を押すと、設定温度が下がります。

手動運転設定時の 操作パネル表示



※暖房モードアイコンが点滅中、決定ボタンを押さずに5秒間以上が経過すると、アイコンは点灯状態に戻ります。

※暖房運転中はいつでも、プラスボタン(+)あるいはマイナスボタン(-)で設定温度を変更することができます。この時、温度設定後に決定ボタン(決定)を押す必要はありません。

※温度設定範囲は、5℃～30℃です。設定温度を5℃にすると、「凍結防止機能」が有効になります。

凍結防止機能

冬場の車庫内などで、室内温度が極端に下がり過ぎるのを防ぐための機能です。

室温が5度を下回った時に、ヒーターは運転を開始します。

凍結防止機能が有効になっている時、操作パネル上に❄️アイコンが表示されます。設定温度を6℃以上にすると、凍結防止機能は解除されます。

※室内の暖まり方は、そのサイズや断熱性能、外気温度等に大きく影響されます。室内に於ける凍結防止を保証するものではありません。



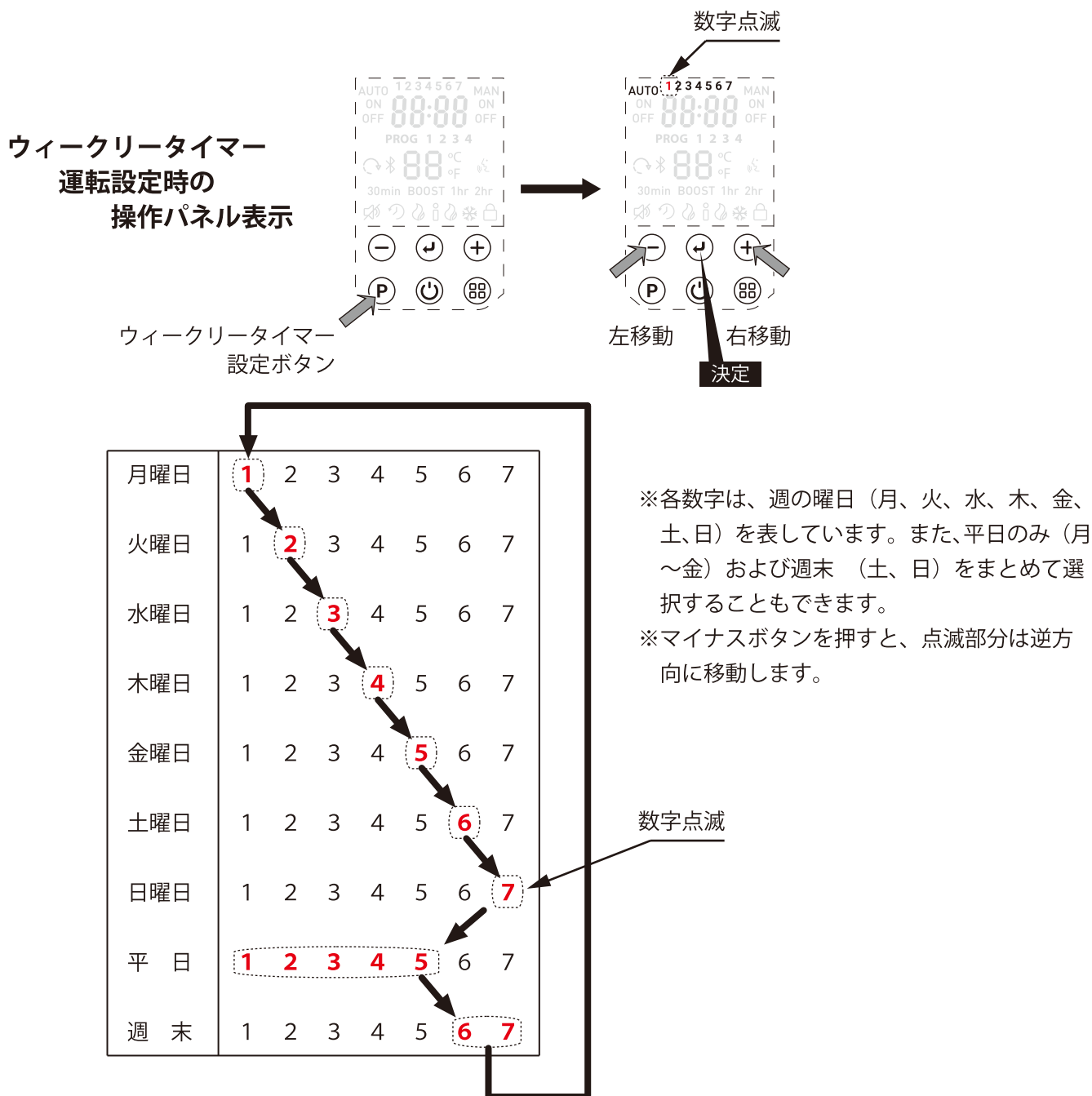
凍結防止機能表示

■ ウィークリータイマー運転 (AUTO) の設定

ウィークリータイマー運転は、ヒーターの運転/停止を曜日と時刻を指定して自動的に行うモードです。曜日の指定 (月・火・水・木・金・土・日)、および各曜日に対して4種類の運転開始/停止時刻を設定することができます。

ウィークリータイマーを使用する場合は、予めヒーターに内蔵されている時計の時刻合わせを行ってください。詳しくは、取扱説明書の「時刻合わせ」をご参照ください。

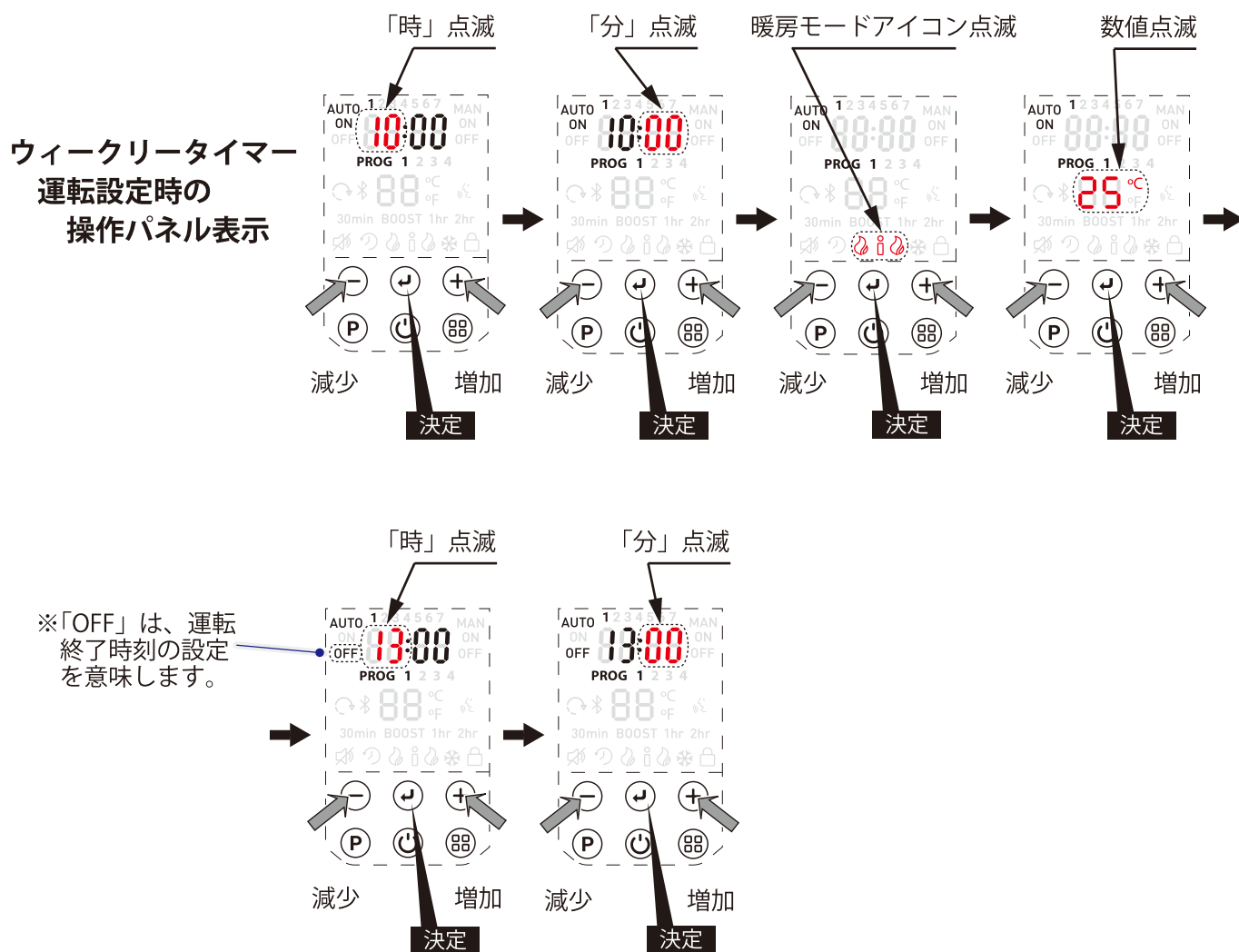
- ①電源投入後、操作パネルのウィークリータイマー設定ボタン **(P)** を押し、ウィークリータイマー運転を選択します。操作パネルの左上に、「AUTO」が表示され、併せて最上段に並んだ1～7の数字のいずれかが点滅します。
- ②点滅している数字はそれぞれ、曜日を表しています（下図参照）。プラスボタン **(+)** あるいはマイナスボタン **(-)** 押しして点滅位置を移動させ、設定したい曜日を選択して、決定ボタン **(↻)** を押します。



- ④時刻表示の「時」が点滅した状態で、運転を開始する時刻の「時」を設定します。プラスボタン **(+)** あるいはマイナスボタン **(-)** を押しすると、数値が増減します（時刻は24時間表示です）。数値を運転開始の「時」に合わせ、決定ボタン **(↻)** を押します。点滅は、時刻表示の「分」の部分に移動します。
- ⑤続いて時刻の「分」を設定します。プラスボタン **(+)** あるいはマイナスボタン **(-)** を押しすると、数値が増減します。数値を運転開始時刻の「分」に合わせ、決定ボタン **(↻)** を押します。暖房モードアイコンが点滅を開始します。
- ⑥暖房運転モードを選択します。プラスボタン **(+)** あるいはマイナスボタン **(-)** を押し、「弱」暖房モード、「強」暖房モード、「インテリジェント」暖房モードのいずれかを選択し、決定ボタン **(↻)** を押します。

※暖房運転モードの詳細につきましては、取扱説明書9ページ「運転方式の選択」の「【1】手動運転 (MAN)」をご参照ください。

- ⑦続いて温度設定を行います。操作パネルの温度数値が点滅している状態で、プラスボタン (+) あるいはマイナスボタン (-) を押すと、数値が増減します。好みの温度に合わせ、決定ボタン (OK) を押します。
- ⑧操作パネル上の表示が「AUTO ON」から「AUTO OFF」に変わり、ここから運転を終了する時刻の設定に入ります。時刻表示の「時」が点滅した状態で、プラスボタン (+) あるいはマイナスボタン (-) を押すと、数値が増減します。数値を運転終了時刻の「時」に合わせ、決定ボタン (OK) を押します。点滅は、時刻表示の「分」の部分に移動します。
- ⑨最後に、時刻の「分」を設定します。プラスボタン (+) あるいはマイナスボタン (-) を押すと、数値が増減します。数値を運転終了時刻の「分」に合わせ、決定ボタン (OK) を押します。「PROG 1」の表示が「PROG 2」に変わり、時刻表示の「時」が点滅します。
- ⑩ウィークリータイマーは、各曜日に対して4種類の運転開始/停止時刻を設定することができます。2つ目のタイマー設定を行う場合は、「PROG2」の「時」が点滅している時に、これまでと同じ手順で設定を行ってください。
その後、引き続き同じ手順で「PROG3」「PROG4」を設定することができます。
また、これ以降タイマー設定行わない場合は、プラスボタン (+) を長押ししてください。これまでの設定状態が本体に記憶され、タイマー設定状態から抜けて、ウィークリータイマー運転状態となります。



■ウィークリータイマーの運転開始

①ウィークリータイマーの時刻が既に設定されている状態で、ウィークリータイマー運転を開始する場合は、まずウィークリータイマー設定ボタン **(P)** を押し（「AUTO」表示が現れ、数字が点滅する）、続いて決定ボタン **(↻)** を押して（時刻の数字が点滅する）、最後にプラスボタン **(+)** を長押しします（AUTO ON もしくは AUTO OFF が表示されます）。

※運転方式切替ボタン **(⊞)** を数回押した時に「AUTO」表示が現れる場合は、「AUTO」の状態決定ボタン **(↻)** を押し、ウィークリータイマー運転状態に入ります。

■ウィークリータイマー設定時のご注意

※4つのタイマーの全てを設定する必要はありません。

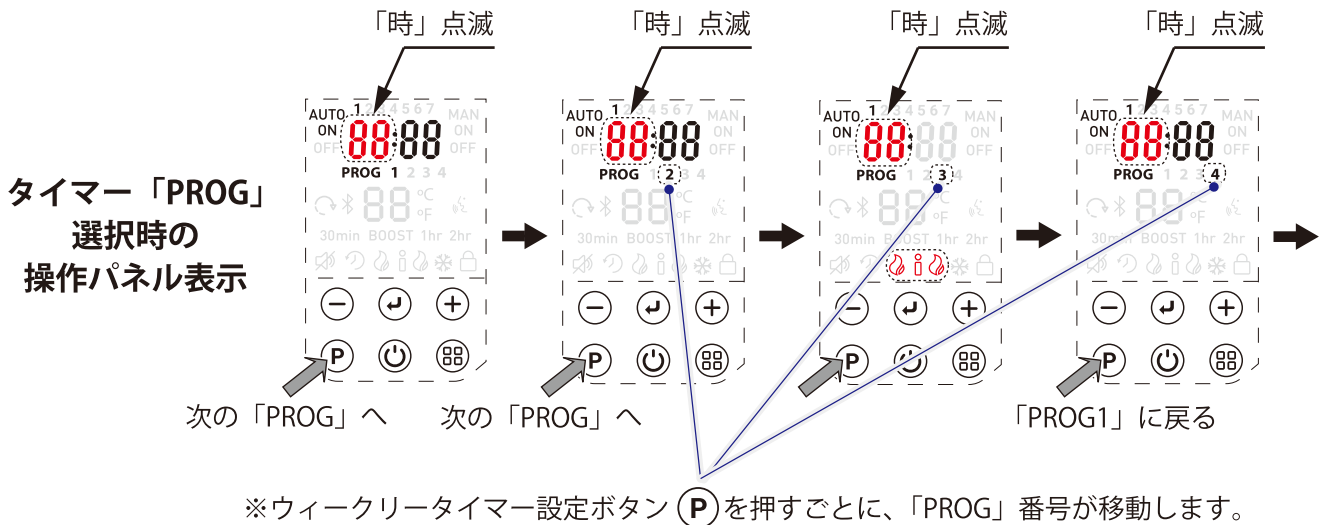
※タイマーの設定手順をさかのぼる（前に戻る）ことはできません。

※先に設定したタイマープログラムを使用しない（無効にする）場合は、そのプログラムの開始時刻（ON）と終了時刻（OFF）を共に「00：00」に設定します。

※タイマー設定中のどのタイミングでも、プラスボタン **(+)** を長押しすると、その時点までに設定された状態を記憶して設定を終了することができます。本体はタイマー設定状態から抜け、ウィークリータイマー運転状態となります。

※タイマー設定中のどのタイミングでも、マイナスボタン **(-)** を長押しすると、変更した内容を破棄して設定を終了することができます。本体はタイマー設定状態から抜け、ウィークリータイマー運転状態となります。

※タイマー設定時、運転開始時刻の「時」が点滅している時にウィークリータイマー設定ボタン **(P)** を押し、次の番号の「PROG」に移動し、そちらの設定が行える状態になります。

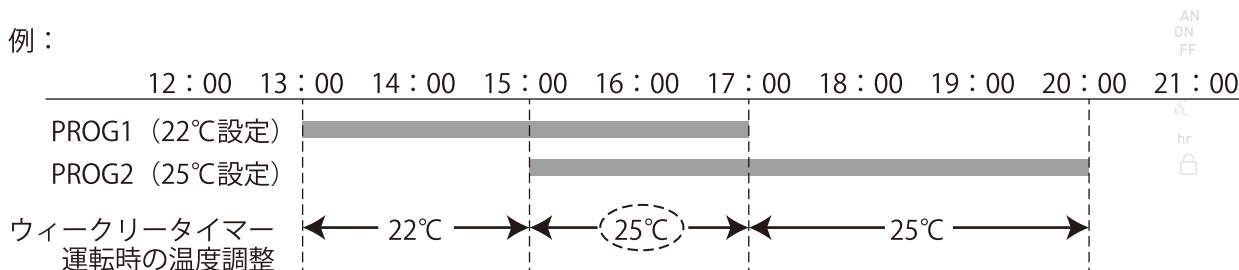


※既にウィークリータイマーがプログラムされている状態で、そこに別の設定を行うと、それまでの設定は上書きされます。同様に、既に曜日単位で設定が行われている状態において、「平日」もしくは「週末」の設定を行うと、曜日単位の設定は消去され、「平日」もしくは「週末」の設定状態に上書きされます。

※タイマーのON時刻よりもOFF時刻を前に設定することはできません。

※タイマー設定は日にち（24時間）単位で行われるため、午前零時をまたいだタイマー設定を行うことはできません。夜間に継続したタイマー設定を行う場合は、当日の夜 23：59 までの設定と、翌日 00：00 から開始する設定を個別に行う必要があります。

※2つのタイマーの設定期間が重なっている場合、温度設定は2つの設定のうちの高い方が選択されます。



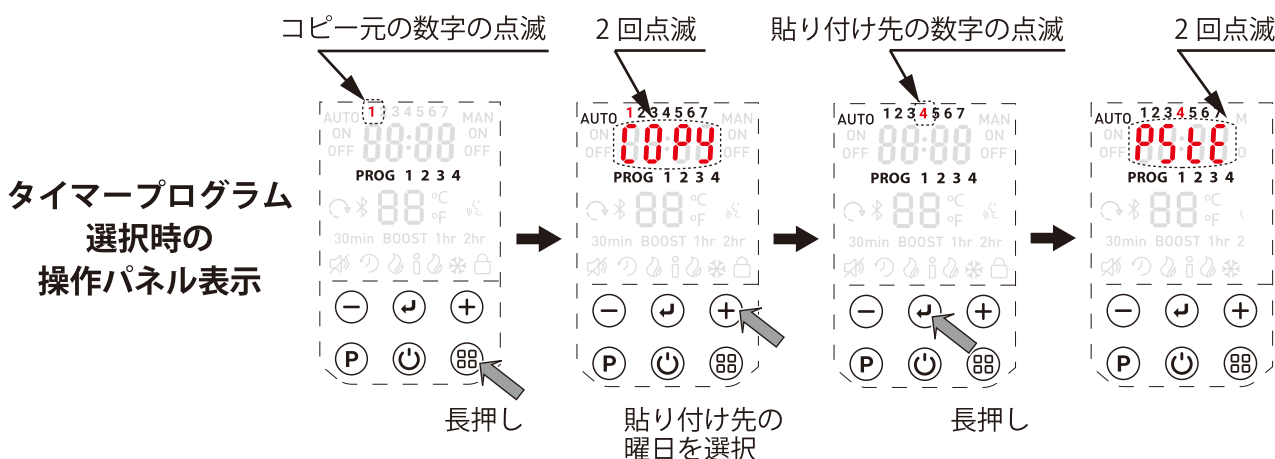
※ウィークリータイマーが作動し運転が始まった後にプラスボタン(+)あるいはマイナスボタン(-)を押すと、室温設定を調整することができます。この調整は一時的なものであり、プログラムの設定内容は変更されません。

■ ウィークリータイマー設定 (PROG) のコピー&ペースト

ある曜日に設定されたタイマーの内容を、他の曜日にコピー (複写) & ペースト (貼り付け) することができます。

- ①操作パネル左下のタイマー設定ボタン(P)を押し、ウィークリータイマー設定状態に入ります。操作パネルの最上段に並んだ1~7の数字(曜日を表す)のいずれかが点滅します。
- ②プラスボタン(+)あるいはマイナスボタン(-)を押し、コピー元となる曜日の数字を点滅させます。
- ③運転方式切替ボタン(☐)を長押しします。操作パネル上で「COPY」の文字が2回点滅します。
- ④再びプラスボタン(+)あるいはマイナスボタン(-)を押し、コピー先(貼り付け)となる曜日の番号を選択します。
- ⑤決定ボタン(↻)を長押しします。「PStE」の文字が2回点滅します。
- ⑥最後に再びタイマー設定ボタン(P)を押します。本体は、ウィークリータイマー運転状態となります。

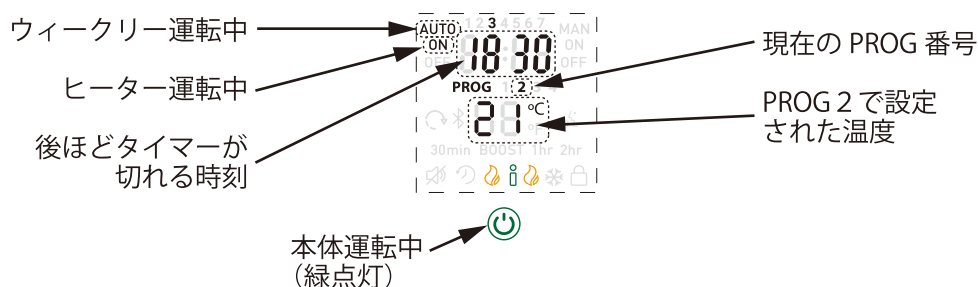
※プログラムのペーストを複数回連続して実施する事はできません。コピーとペーストの操作をその都度(複数回)実施してください。



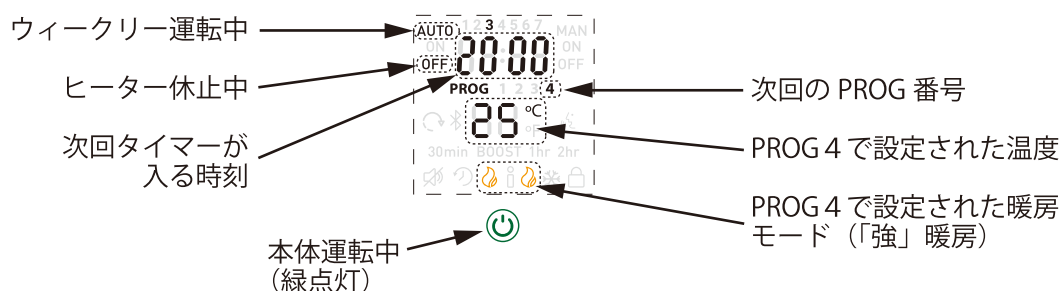
■ ウィークリータイマー運転時の操作パネル表示

ウィークリータイマー運転時、本体の状態によって操作パネル上の表示は以下のように変化します。

※タイマーによりヒーターの運転が行われている時



※タイマーによりヒーターの運転が停止している時



■ オフタイマー運転 (BOOST) の設定

就寝時などに、自動的にヒーターの運転を停止することができます。オフタイマー時間に到達すると、本体は停止状態 (スタンバイモード) になります。

※運転停止時間は、「30分 (30min)」「1時間 (1hr)」「2時間 (2hr)」の3種類から選択します。

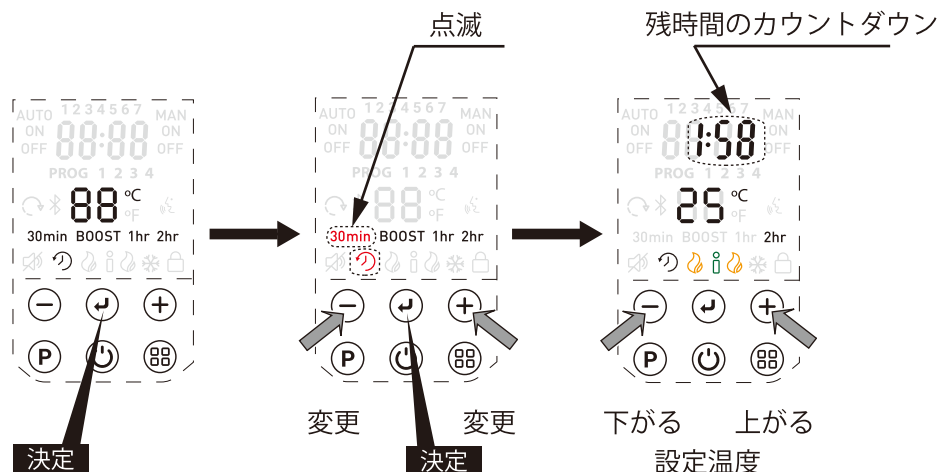
※暖房モード「インテリジェント」、および設定温度「25°C」の初期状態にて、運転が始まります。オフタイマーの動作開始後、プラスボタン (+) あるいはマイナスボタン (-) を操作して、設定温度を調整することができます。

- ①電源投入後、操作パネルの運転方式切替ボタン (Ⓑ) を何回か押し、オフタイマー運転を選択します。操作パネルの中央 (温度表示の下) に、「BOOST」が表示されます。
- ②決定ボタン (↵) を押し、オフタイマーアイコン (🕒) が点滅し、運転停止時間の選択状態となります。プラスボタン (+) あるいはマイナスボタン (-) を押し、3種類の停止時間のいずれかを選択し、決定ボタン (↵) を押します。
- ③オフタイマーアイコン (🕒) は点灯状態となり、操作パネルの時刻表示部に運転停止までの残時間が表示されます。残時間はカウントダウンされ、ゼロに達した時に運転が停止 (スタンバイモード) します。

※オフタイマー運転を途中で終了するには、スタンバイボタン (🔌) を押し、ヒーターはスタンバイモードになり、再びスタンバイボタン (🔌) を押し、手動運転にて動作を開始します。

※残時間のカウントダウン値は、オフタイマー動作時は継続して表示されます。

オフタイマー運転 設定時の 操作パネル表示



その他の設定

■ アダプティブスタート

通常、ウィークリータイマーを設定すると、ON 時刻にヒーターが加熱を開始します。アダプティブスタート機能を有効にすると、ヒーターは自動的に設定した ON 時刻よりも早く運転を開始し（最大およそ 2 時間前）、ON 時刻に設定温度に到達するよう動作します。

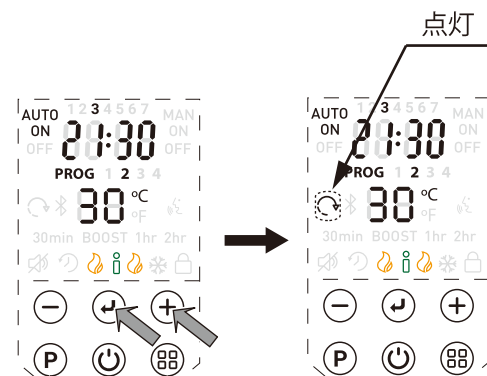
※アダプティブスタート機能は、ウィークリータイマー運転時のみ設定できます。

※運転開始時刻は、過去の動作状況や現状の室温、設定温度などを基にして、自動的に決定されます。

※初回使用時は情報未収集であるため、アダプティブスタートは機能しません。

※お部屋の暖まり具合は、お部屋の断熱性能や材質、窓の断熱性能や位置、サイズなどに、大きく影響を受けます。状況によって、室温が設定温度に達しない場合がありますが、本体の故障ではありません。

- ①ヒーターの動作時に、決定ボタン (⏏) とプラスボタン (+) を同時におよそ 2 秒間長押しします。アダプティブスタート表示アイコン (🔄) が点灯します。
- ②同じ操作を再び行くと、アダプティブスタート機能は解除されます。

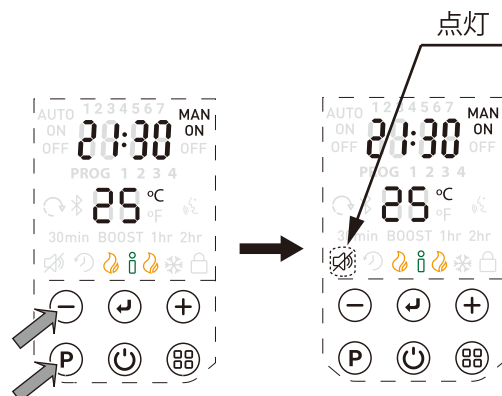


両ボタンを長押し

■ ビープ音の入/切

ヒーターの操作時に鳴るビープ音（操作確認音）を出さないように設定することができます。

- ①ヒーターの動作時に、ウィークリータイマー設定ボタン (P) とマイナスボタン (-) を同時におよそ 2 秒間長押しします。操作パネル上にビープ音切アイコン (🔇) が表示され、ビープ音が出なくなります。
- ②機能を解除するには、再びウィークリータイマー設定ボタン (P) とマイナスボタン (-) を同時におよそ 2 秒間長押しします。ビープ音切アイコン (🔇) が消灯します。





両ボタンを長押し

※ビープ音「切」状態は、電源プラグを抜いても保持されます。

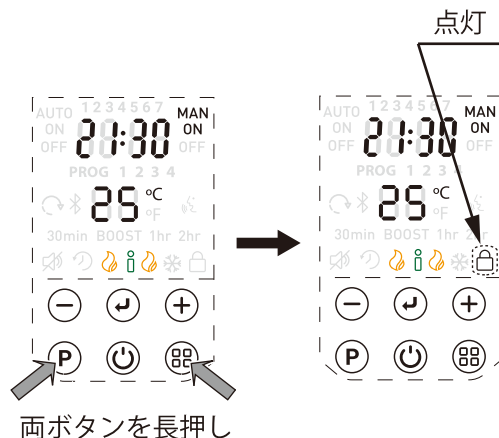
※本設定は、本体の操作パネルにて操作を行う場合に有効となります。アプリによるリモート操作を行う場合、ビープ音を「切」に設定していてもビープ音は鳴ります。

■ チャイルドロック機能

一時的に、操作パネルへの操作を受け付けなくする機能です。

- ①ヒーターの動作時に、ウィークリータイマー設定ボタン (P) と暖房モード切替ボタン (BB) を同時におよそ2秒間長押しします。操作パネル上にチャイルドロックアイコン  が表示され、スタンバイボタン以外の操作は受け付けなくなります。
- ②機能を解除するには、再びウィークリータイマー設定ボタン (P) と運転方式切替ボタン (BB) を同時におよそ2秒間長押しします。チャイルドロックアイコン  が消灯します。

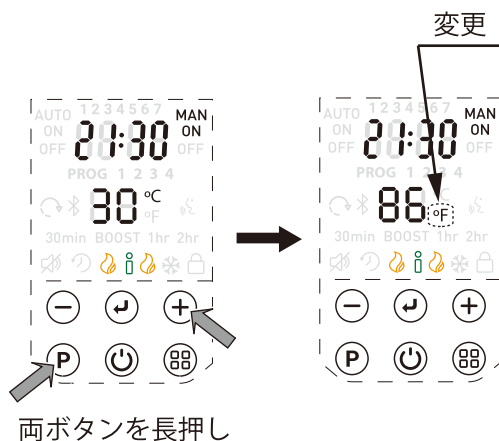
※チャイルドロック機能は、電源プラグを抜いても保持されます。



■ 温度単位の切換え

操作パネル上に表示される温度の単位を、摂氏 (°C) あるいは華氏 (°F) に切替えることができます。初期状態は摂氏 (°C) です。

- ①ヒーターの動作時に、ウィークリータイマー設定ボタン (P) とプラスボタン (+) を同時におよそ2秒間長押しします。操作パネル上に表示されている温度単位が華氏 (°F) に切替わります。
- ②同じ操作を再び行くと、温度単位は摂氏 (°C) に戻ります。



リモート操作

本製品は、専用リモコンアプリ「Remo」をインストールした iOS デバイスと Bluetooth 接続を行うことにより、ヒーターのリモート操作を行うことができます。Remo アプリは、App Store より無償でダウンロードいただけます（検索時には「Dimplex Remo」などの検索ワードをご使用ください）。



リモート操作を行うためには、iOS デバイスへの「Remo」アプリのインストール、および本製品とのペアリングが必要となります。

■ リモート操作に関するご注意

※Remo アプリのダウンロード方法につきましては、App Store のヘルプやサポート情報などをご参照ください。

※以降の説明は、Remo アプリのバージョン 3.0.2 を基に作成しております。アプリの仕様や操作方法などは、改善のため予告なく変更される場合があります。

※使用される操作デバイスやヒーターをご使用になる環境、その他の要因により、アプリが正常に動作しない、ペアリングが行えない、通信が不安定になるなどの問題が発生する可能性があります。予めご了承ください。

※大変申し訳ございませんが、アプリに関する弊社への個別問い合わせへの対応はご容赦ください。

※免責事項：

1. 本アプリの瑕疵や動作に関わる不具合、本アプリがデバイスに与える影響、およびお客さまが本アプリを正常に利用できないことにより被る不利益などについて、当社に故意または重大な過失がある場合を除き、当社は一切その責任を負いません。
2. お客様や第三者の過失あるいは故意による誤使用、異常な条件下での使用などによって生じた損害に対して、当社は一切その責任を負いません。

■ 操作デバイスとヒーターとのペアリング

Remo アプリを使用する際には、ヒーターと操作デバイスとの間で予めペアリングを行う必要があります。

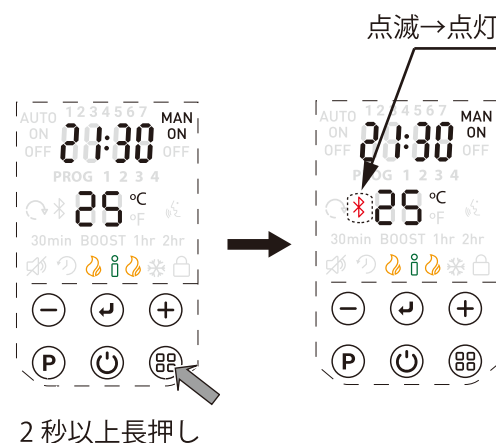
1. ヒーターの操作手順

①ヒーターの動作時に、運転方式切替ボタン(Ⓚ)をおよそ2秒間長押しします。Bluetooth 接続表示アイコン(✳)が点滅を開始します。この状態を「検出可能状態」と呼びます。


②検出可能状態の最中に Remo アプリを起動させ、Bluetooth のペアリング操作を行います。ペアリングが完了すると、アイコン(✳)は点灯状態となります。

※Remo アプリのペアリング操作につきましては、次ページ以降の説明をご参照ください。

※Bluetooth 接続表示アイコンが点滅を開始して2分間以内にペアリングを完了しない場合、アイコン(✳)は消灯します。ペアリング操作を行う場合は、再度運転方式切替ボタン(Ⓚ)を長押ししてください。



2. 操作デバイスの操作手順

- ①操作デバイスの「設定」にて、ブルートゥースを「オン」の状態とします。
- ②ヒーターが「検出可能状態」になっている最中（ブルートゥース接続表示アイコン  点滅中）に、操作デバイスにインストールした「Remo」のアイコンをタップして、アプリを起動させます。
- ③ヒーターとの通信が始まると、画面上にアルファベットと数値から成る固有番号（CV**** など）が表示されますので、それをタップします。すると続いて、画面下部に「接続」ボタンが現れるので、それもタップします。
- ④PIN コードの入力を促す表示が現れます。画面上部に表示された6桁の数値を入力欄に入力し、「ペアリング」ボタンを押します。
- ⑤ペアリングが完了すると、Remo アプリの操作画面が現れます（例は手動運転方式）。ヒーターからは、ビーブ音が聞こえます。



Bluetoothを「入」状態にします。

Remo アプリのアイコンをタップします。

固有番号→接続ボタンを順にタップします。

PIN コードを入力します。



操作画面が表示されます（例：手動運転方式）。

※注：操作デバイスのBluetoothが「入」になっていない場合、切替えを促すメッセージが画面上に表示されます。指示に従って「設定」から切替操作を行ってください。



■ 手動運転

- ①画面下部の「手動運転」ボタンを押します。
- ②画面下部に表示されたボタンを押すことにより、ヒーターの運転方式を切替えることができます。
- ③「ヒーター名称の修正 (Change appliance name)」ボタンを押すと、操作画面中央に表示されているヒーターの名称を修正することができます。
- ④温度を5℃に設定すると、凍結防止機能❄️が「入」となります。



■ ウィークリータイマー運転

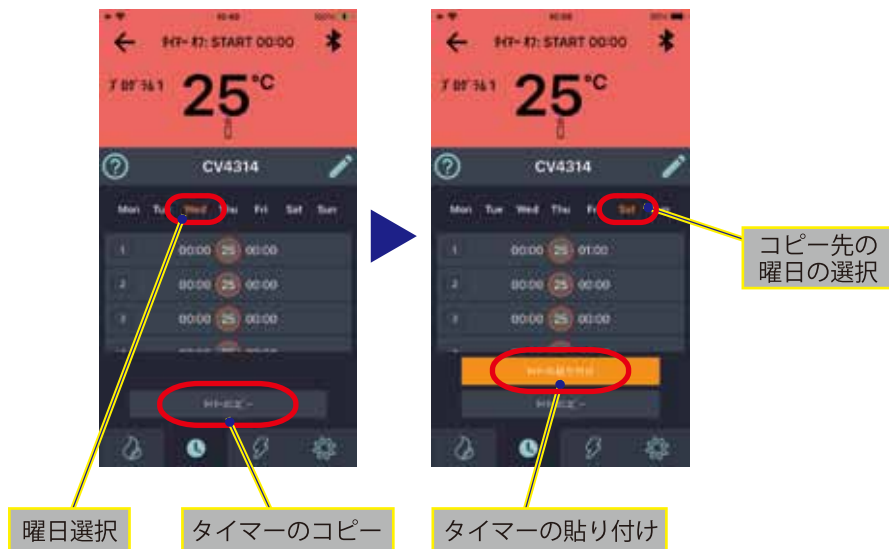
- ①画面下部の「ウィークリータイマー運転」ボタンを押します。
- ②設定を行いたい曜日を選択します。
- ③プログラム番号を選択します。各曜日で最大4パターンのタイマー時刻を設定することができます。
- ④選択したプログラムにおける暖房開始/終了時刻、温度、暖房モードをを設定します。「スタート」もしくは「エンド」の数値をタップすると、時刻設定が行えます。
- ⑤設定終了後に「セーブ」をタップすると、設定内容がヒーターに保存されます。



■ ウィークリータイマー設定のコピー&ペースト

ウィークリータイマーのある曜日に設定されているプログラムを、他の曜日にコピーすることができます。

- ①ウィークリータイマー設定の表示状態にて、プログラムが設定されている曜日を選びます。
- ②画面下部の「タイマーのコピー」ボタンを押します。「タイマーの貼り付け」ボタンが現れます。
- ③プログラムのコピー先の曜日を選び、続いて「タイマーの貼り付け」ボタンを押します。プログラムの内容が、その曜日に写されます。



■ オフタイマー運転

- ①画面下部の「オフタイマーボタン」を押します。
- ②「30分」「1時間」「2時間」のいずれかのタイマー時間設定ボタンを押し、希望する時間を選択します。
設定はヒーターに転送され、ヒーターの操作パネル上に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- ③温度調節部を操作し、お好みの温度に設定します。



■ 各種設定

Remo アプリ経由で、ヒーターの設定を行うことができます。

- ①画面下部の「設定ボタン」を押します。
- ②ボタンを押して、必要な設定操作を行います。



安全装置

■ 転倒時電源遮断装置

ヒーターが傾いた場合、内部の転倒時電源遮断装置が作動し、ヒーターは自動的に運転を停止します。ヒーターを正しく立てると、運転を再開します。

■ 本体温度過昇防止装置

通気口が覆われるなどしてヒーター内部が過熱状態となった場合、温度過昇防止装置が作動してヒーター出力が低下、あるいは運転が自動停止します。

復帰させるには、まず過熱状態となった原因を取り除き、電源プラグを抜いてヒーターを十分に冷ましてください。その後、再び電源プラグを差し、電源を入れます。

保管のしかた

- ①本体の内部にほこりなどが入らないように、同梱の保管用カバーなどをお掛けください。
- ②ほこりの少ない乾燥した場所で保管してください。

お手入れのしかた



お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。

- ①通気口部分は、定期的に掃除機等でホコリを取り除いてください。
- ②外装部分は、柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いてください。汚れがとれない場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。クレンザーやシンナーなどは表面を傷付けますので、使用しないでください。
- ③操作部や本体内部には、絶対に水がかからないようにしてください。
- ④電源プラグにほこりやゴミが付着してる場合は、掃除機で吸い取るなどして除去してください。
- ⑤長時間使用しない場合はカバーをかけるなどして、ほこりや汚れから本体を保護してください。

電源コードおよびプラグの点検

- ①定期的に、電源コードやプラグの形状に異常がないか、確認を行ってください。万一、電源コードやプラグに傷や被覆の破れ、変形、がたつきなどが見られる場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、お客様ご相談窓口にご相談ください。特に電源プラグの付け根部分や、ケーブルが本体から出ている部分は、外部からの負荷がかかり易くなりますので、よくご確認ください。
- ②電源コードやプラグが手で持てないほど極端に熱い、あるいは動かすと電源が入ったり切れたりする場合、内部の破損や断線が考えられます。直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜き、お客様ご相談窓口にご相談ください。異常が見られる状態での製品の使用は、火災や感電につながり大変危険です。

故障診断

症状	原因・確認ポイント	
電源が入らない。 ヒーターが全く暖まらない。	電源プラグが外れていませんか？	電源プラグを壁のコンセントにしっかりと差し込んでください。
ブレーカーが落ちる。	ブレーカーの容量（総ワット数）を超えた電力を使用していないですか？	ご使用中の電気機器が消費する電力の総ワット数が、ブレーカーの容量を超えないようにします（使用機器を減らす、電力の契約量を増やすなど）。
電源プラグやコードが熱い。プラグやコードを動かすと電源が切れる。	手で持てないほどの高温は、電源プラグやコードの異常、コードの半断線などの発生が考えられます。	直ちに製品の使用を中止し、販売店様もしくはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
ヒーターを使用すると、においがする。	ヒーターを初めて使用した時、あるいは長期間の未使用状態後に再び使用した時、においを感じる場合がありますが、故障ではありません。	お部屋を十分に換気した状態でご使用ください。1日程度のご使用で解消します。
ヒーターを使用すると、薄い白煙が出る。	ヒーターを初めてご使用になる時、薄い白煙が出る場合があります。これは、部品に残存していた揮発成分が蒸発したり、ヒーター部などに付着した細かなほこりや湿気が加熱され舞い上がることにより生じますが、本体の故障ではありません。	しばらくお使いいただくことで解消しますので、それまでお部屋を十分に換気した状態でご使用ください。
ヒーターを使用すると、内部より音がする。	本体の金属部品が、熱により膨張や収縮をする際に「カン」と言う音がありますが、故障ではありません。	本体の材質および構造によるものです。
部屋が十分に暖まらない。	お部屋の暖まり具合は、お部屋の断熱状況や材質、窓の位置・サイズ、本体の設置場所などによって変わって参ります。カーテンや家具などで、暖気の流れが妨げられていませんか？ お部屋にすきま風が流れ込んでいませんか？	暖気の流れを妨げないように、カーテンや家具などの配置を変更してください。 外部からの冷気の流入を防止してください。特に、外気に面した壁面や窓の高断熱化が効果的です。

※上記の内容を確認しても原因が不明な場合は、販売店様もしくはお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

※電源コードやプラグが破損した場合は、お客様ご相談窓口へ修理をお申し付けください。お客様ご自身による修理は、発火や感電、負傷などの原因となり、大変危険です。

アフターサービス

1. 製品の使用中に異常が生じた場合には、直ちに電源を切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店様もしくはお客様相談窓口へご相談ください。
2. 保証期間内の修理につきましては、保証書に記載された規定に基き、無料で行います。
3. 保証期間経過後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合にのみ、お客様のご要望により有料で修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。
5. 販売店様もしくはお客様相談窓口へご相談をされる場合には、下記の内容をご連絡ください。
 - ①製品名、型番
 - ②症状（まず取扱説明書の「故障診断」をご確認ください。）
 - ③お買上年月日（保証修理をお受けになる場合は、ご購入元および購入日がわかる資料が必要です。〔販売店様の印やサイン、シール、あるいはご購入を証明するレシートなど。〕
 - ④お客様のお名前、ご住所、電話番号

お客様ご相談窓口



TEL 0120-583-570 FAX 0295-55-8523

株式会社 バーグマン 【受付時間：平日 9:00~12:00/13:00~17:00】

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

株式会社 バーグマンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通りお取り扱いいたします。

- ①個人情報を、本製品に関するご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残す場合がございます。修理やその確認業務を協賛会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
- ②個人情報を、適切に管理いたします。
- ③個人情報に関するお問い合わせは、「お客様相談窓口」にて受け付けいたします。

仕 様

製品名	オイルフリーヒーター V2	
	白	黒
型番	DOFV12BT	DOFV12BTB
暖房目安	8畳～10畳※	
電源	100 [V]	50/60 [Hz]
消費電力	1,200 [W]	
外形寸法	幅 465[mm] × 高さ 631 [mm] × 奥行 281 [mm]	
製品質量	約 12 [kg]	
安全装置	温度過昇防止装置、転倒時電源遮断装置	

※暖房目安は、「次世代省エネルギー基準（H11年）、暖房目安Q値 3.7 [W/㎡K]（VI地域相当）、室内外気温差 20-25K」を目安としています。

Memo

保証書

持込修理

製品名：オイルフリーヒーター V2 (白),(黒)			
型番：DOFV12BT / DOFV12BTB			
保証期間：お買い上げ日 年 月 日から3年間			
お客様名： 様		電話番号： — —	
ご住所：〒			
販売店名および住所：		電話番号： — —	
印			

※販売店様へ：上欄の製品お買い上げ日、お客様および販売店様のお名前・住所・電話番号をご記入の上、本書をお客様にお渡しください。

本書は、お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合に、下記の＜無料修理規定＞に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は、＜無料修理規定＞をご参照ください。

無料修理規定

- 取扱説明書や本体貼付ラベル等に記載された注意書きに従った使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合は、無料で修理をさせていただきます。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店にお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
- ご転居された場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店もしくはお客様ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で、本保証書に記入されている販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内であっても、次の場合には原則として有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 保証書のご提示がない場合、および保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (ヘ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の、出張に要する実費（出張修理対応製品のみ）
 - (ト) 取扱説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 販売店の連絡先は、上記の保証書内をご参照ください。

※この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

※This warranty is valid only in Japan.

輸入元 株式会社 バーグマン 〒107-0052 東京都 港区 赤坂7丁目 1-1 青山安田ビル B1F